

# 一人の芝居

もう一人の私へ

沢村 鐵（釜石市鶴住居町出身）著

「あの日から」所収（岩手日報社刊）

演者 内沢 雅彦（劇団黒テント 釜石市出身）

二〇一四年

三月一五日（金）札幌公演

【後援】札幌市  
札幌市教育委員会  
北海道新聞社

三月一七日（日）十勝公演

あの3月11日を忘れない

# あの3月11日を忘れない

釜石市大只越町出身の俳優、内沢雅彦さんが東日本大震災を題材にした一人芝居「もう一人の私へ」を上演します。原作は同市鶴住居町出身の作家、沢村鐵さんの短編小説で、同郷の表現者のタッグ作品となりました。

物語の主人公は、沢村さん自身がモデルの釜石市出身の作家。津波の直前に郷里に戻るが、偶然が重なり被災を免れる。あったかもしれない過去や現在に思いをはせながら、まちの様子と複雑な胸中を息子への手紙につづるー。昨年、故郷の釜石で4回公演後、福島のいわき、東京の国立でも上演され好評を得ています。震災当時に「古里の力になれなかつた」という思いを持つ内沢さん。あの日から13年。元旦の能登大地震と津波に、更なる自然への畏敬と祈りを込め公演します。お誘い合わせの上ぜひご来場ください。

## 沢村鐵：

釜石市鶴住居町出身。2000年、地方都市の学校を舞台としたミステリー小説『雨の鎮魂歌(レクイエム)』(幻冬舎)でデビュー。世界警察シリーズ、クラシックシリーズなどがある。

## 内沢雅彦：

釜石市出身。釜石南高校(現釜石高校)を卒業後、盛岡市で飲食店に勤めながら、劇団赤い風に一時所属。その後上京し、40年余り劇団黒テントに所属。



## 【スケジュール】

### 札幌公演

**3月15日 金曜日 (各回定員30人)**

昼の部 開演：2時 開場12時30分

夜の部 開演：7時 開場5時30分

▶ご予約・会場問い合わせ:モケレンベンベ・プロジェクト

tel&fax 011-206-0804

E-Mail:mokele@rr.ijj4u.or.jp

会場 虹のしっぽ hot cafe ほっぺた館

札幌市南区簾舞4条3-4-25

料金 1000円

\*開場から開演まで(約1時間半)の間に軽食(料金別途)を御提供します。ぜひ御利用下さい。(開演15分前オーダーストップ)



駐車場：駐車台数に限りがありますので、なるべくバスでのお越しをお願いします。

### バスのご案内

●札幌駅「じょうてつバス26番のりば」

定山渓・豊平峡温泉行または豊滝行 乗車60分「東簾舞」下車徒歩5分

●真駒内駅「じょうてつバス4番のりば」

定山渓・豊平峡温泉行または豊滝行 乗車30分「東簾舞」下車徒歩5分  
簾舞団地行きのバスで終点「簾舞団地」下車徒歩15分

### 十勝（豊頃）公演

**3月17日 日曜日 (定員15人)**

開演 4時 開場3時30分

▶ご予約・会場問い合わせ：

Mobile 070-5360-8300(白濱)

fukagawalabo@gmail.com

会場 B&B丘 / the cafe 豊頃町統内 607

料金 1000円+ドリンクオーダー



公演内容についての問い合わせ：uchyaji55@ymobile.ne.jp